



千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

94.2.17 No. 3946

「福祉」は名ばかり 奥は大増税



何のための大増税

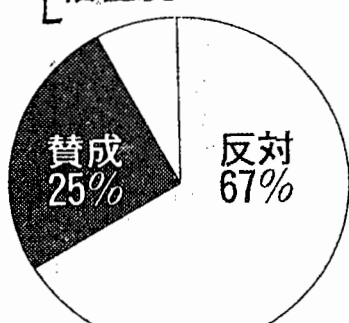
すでに多くのところで言われているように、政府のいう「減税」は、大資本と高額所得者にとつただけの「減税」である。

そのツケは消費税増税という形で労働者人民に押し付けるといふ攻撃である。

そして、アメリカ力による中東侵略戦争に際し戦費差し出しの莫大な金を「国際貢献税」という名目で捻出しようとした小沢の意図は今も何ひとつ変わっていないのである。

つまり戦争の出来る強力な国家づくりのための財源確保、それが狙いとすることがある。

福祉税をどうみる



(テレビ朝日の調査)

「高齡化社会に対応」「減税の財源」のため「福祉税」を導入するというのである。

この見えすいた手法を労働者が見ぬかなくとも思っているのだろうか。マスコミの調査ですら六〇%以上が反対しているのである。

ところで、「所得税減税」と「消費税引き上げ」について「一体処理」か「切りはなし」があたりか問題である。かのようなスリカ工が画策されているがとんでもないことである。問題は消費税引き上げそのものである。多くの人もそれに反対している。

消費税7%案を許すな

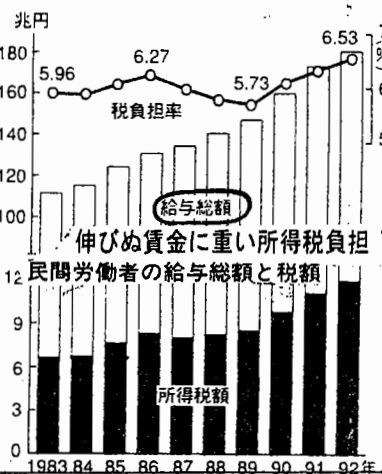
独裁と戦争国家づくりのための小選挙区制を強行「成立」させた細川・小沢政権は、次には直ちに消費税引き上げの攻撃に着手してきている。

これは結論的にいって「福祉」という「仮面」をつけた大増税攻撃である。

こうした重大な攻撃に対し社会党は真つ向から反対するのでなしに、「現実の政治のなかで総合的に判断することはやむおえない」(一日、村山委員長)として、コメ自由化問題でとつた態度、すなわち「反対だが受け入れる」と同様の態度をとっている。

長期不況、首きり攻撃の中で苦悩しながらも一生懸命頑張っている多くの労働者の存

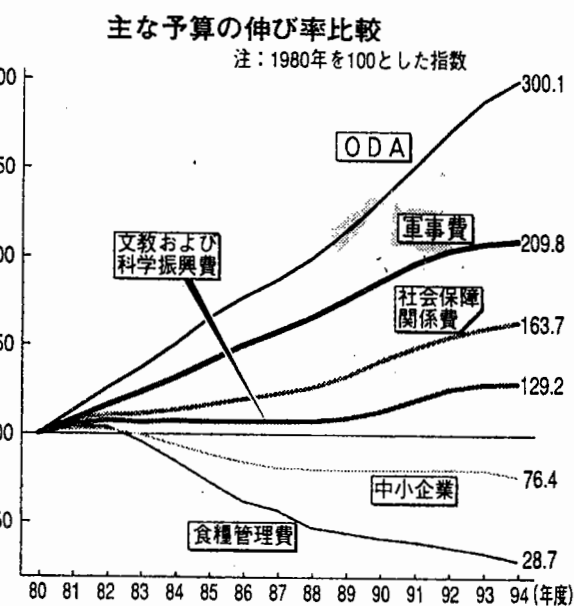
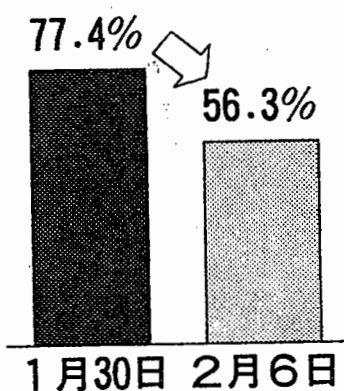
在に背をむける社会党に対し労働者の立場から厳しく向き合わなければならない。



資料：国税庁「92年民間給与実態調査」

細川・小沢の正体 国民を怒らしはめどる

細川内閣支持率



る。すでに世界第二位の軍事費の増大もそのことを示している。

細川政権は、社会党を抱き込むことで一定の「幻想」をふりまきながら「生活者重視」とか「福祉」といった「美名」を看板にして、実際やっていることは歴代自民党ですらやりたくとも出来なかつた超反動的な政策を次々と強行実施し、それを労働者人民に押しつけてきている。だがこの細川・小沢政権も今やメッキが剥け「幻想」は崩れ落ちてきている。要するに、皆が怒りはじめているのである。

細川内閣打倒の課題は九四年春季闘争の重要なたたかいである。